

水環境の保全・復元・再生

～仲間が大切だ!!

水に関わる自然環境（水資源、水質など）を復元・再生するために、子ども達が行うべきことなど。



発表の概要

第4分科会は、「知る」「体験」「伝える」ことが川での安全な活動につながる。

「水環境」を良くしていくためには仲間が大切。仲間と行う清掃活動の楽しさや意義を演劇で伝えました。さらに人々に関心を持ってもらうためにできることを発表しました。

実行委員コメント

●ゴミ教育について、自身が地元の学校にはたらきかけています。

清掃事業では、「ここに捨てたらはずかしい」という意識が住民に生まれればどんどんきれいになっていきます。河川は道路と違い、市民団体にとって活動しやすい場所だと思います。

このような活動はリーダー的存在がいないと発展していきません。みなさん、リーダーとなって活動を続けてほしいです。

●(出身の)愛知県から見ると、北海道に来て千歳川をみて、ビックリしました。きれいな川にすんでいることは誇りだと思えるようになりました。

きれいな川が(千歳川)が40年たってもきれいなままだというのは多くの行政、市民、地域の努力があったと思います。

一人では変えられないけれど、人がつながれば世界が変われると思います。みなさんも他団体と一緒に協力しながらゴミ拾いなどを続けてほしいです。



ファシリテーター・記録係のコメント

●今回の大会は、移動や体験学習の疲れもあったと思いますが、3日間一生懸命議論し、たくさんの仲間をつくってくれたと思います。特に、参加者の間から「こんな短期間でここまで打ち解けられると思わなかった」という言葉を聞いた時は、「ファシリテーター冥利に尽きるなあ」と思いました。僕も参加者からのエネルギーをたくさんもらって、心から楽しかったと言える大会になりました。おしゃべりも楽しかったし、カヌーで4回くらい落とされたし、こんな楽しい思い出がいっぱいです。みなさんのおかげです。ありがとうございました。

●今回始めてこの大会にでて、分からないことが結構私の中であって、参加者に迷惑を掛けたのではないかと反省しています。第4分科会のみんなは、はじめのうちは静かな子が多いなと思ったけど、進めていくうちにどんどん打ち解けていって、とても明るく楽しい会になっていったと感じています。最後のほうになって、参加者みんなの口から「楽しい」ということばが何回もきこえてきてうれしかったです。3日間ありがとうございました。



ファシリテーター
三橋 渉



記録係
割田 麻江

第4分科会

わたる、あいえ、
いくの、つばさ、かいと
ボス、ホニ、りな、ゆきみ
メンバー

水環境問題

関心があると……

仲間での活動が
できる!!

- 排水関係
- ゴミ
 - 人工的
 - 水質汚染
 - 生物
 - 温暖化
- 関心

- 仲間での活動
- ・ゴミ拾い
 - ・踏査
 - ・ホームページ作成
 - ・地域の人に呼びかけ
 - ・子供の体験活動
 - ・川の生物の観察・飼育

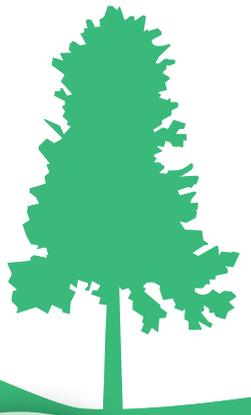
- 関心を持たせるには?
- ・子供の時の体験
 - ・学校行事・授業
 - ・生き物を見せる
 - ・飲み水の実験

- 仲間ができる
メリット
- ・長く続けることができる!
 - ・寂しくない!
 - ・効率がよくなる!
 - ・興味を持たせやすい!

- 一人での活動
- ・ゴミ拾い
 - ・生活排水に気を配る

仲間が
大切だ!!

一人はみんなのために
みんなは一人のために



Members



藤野 郁乃
北海道 高3



岩橋 希
兵庫県 中3



村上 誠一郎
広島県 中3



森本 優貴美
熊本県 中1



佐藤 遼
茨城県 中1



逸見 翼
兵庫県 高2



泉 介斗
愛媛県 高1

第4分科会は…
自己紹介のときからポストイットを活用して、「相手の良いところ」「自分も取り入れたいところ」「アドバイス」など、言葉で言うのは恥ずかしいけど伝えた☆第4分科会の部屋は、時間が経つにつれてポストイットの色でどんどんカラフルになっていったんですよ。(フログより)